

国内最大規模の創造ネットワーク事業

クリエイティブアイランド中之島 - 創造的な実験島 -



Creative Island
Nakanoshima

プレスリリース 2021.12.22

プロジェクトロゴ決定
ミーティングポイント企画始動
プロモーションサイトリニューアル

シンボルシンポジウム&コア期間プログラム
2022年1月頃詳細発表予定

大阪府立国際会議場 大阪市中央公会堂 大阪市立科学館
大阪市立東洋陶磁美術館 大阪大学・ダンスボックス・京阪ホールディングス (アートエリア B1)
大阪中之島美術館 graf 国立国際美術館 こども本の森 中之島
中之島香雪美術館 中之島まちみらい協議会 フェスティバルホール

事業趣旨

「クリエイティブアイランド中之島」による都市のリブランディング

大阪市北区に位置する「中之島」は、堂島川と土佐堀川に挟まれた東西約3kmの中州です。

水都大阪を象徴する“中之島”は、美術館やコンサートホール、科学館、国際会議場などの多様な文化施設や歴史的建造物、企業の高層ビル群と、公園や水辺環境が共存する他に類を見ない都市の中州であり、パリのシテ島、ベルリンのムゼウムス・インゼルのように世界に誇る国際的な文化資産に満ちています。

「クリエイティブアイランド中之島」は、14機関による国内最大規模の創造ネットワーク組織が、中之島エリア全体をユニークベニューとしての「創造的な研究所」に見立て、様々なクリエイティブコンテンツを開発・創出していきます。

幕開けとなった2020年度のスタートアップ企画では、プラットフォームメディアとしてのウェブサイトを立て、9つのナイト&デイプログラムを展開しました。本格始動となる2021年度はプロジェクトを象徴するロゴの作成と共にミーティングポイント（共通スタンド）を各館ロビーに設置し、さらには、2022年2月開館の大阪中之島美術館を会場に、実来場を伴うシンボルシンポジウムを開催することによって、クリエイティブアイランド中之島の取り組みを内外に発信します。

新型コロナウイルスによって世界が一変しましたが、文化と経済の両輪による持続可能な都市のリブランディングによって、ニューノーマル時代にふさわしい、“世界中の人々が訪れ集うクリエイティブなまち中之島”を目指します。これからの創造的な未来にご期待ください。

委員長からのメッセージ

「クリエイティブアイランド中之島実行委員会」は2019年に設立しました。しかしながら本格始動の2020年、新型コロナウイルスの影響により世界が一変し、経済・文化が多なる影響を受け困難を極める状況において、改めて本実行委員会の意義を見つめ、先行きが見えない今こそ、未来を志向するための組織間の垣根を超えた共創が重要である、と決意を新たにしました。

中之島は世界に冠たるクリエイティブアイランドとなるポテンシャルを有しており、このような組織ができるに至ったことは、今後の躍進に向けた一里塚となるものです。単体の施設がネットワーク化されれば、1+1が2ではなく大きなシナジー効果生まれ、一つの面となって発展していくでしょう。今後は、何を実践していかにかに継続させるかが課題ですが、学術・芸術・技術の三つの「術」が交差することによって、はじめて文化というものが高次元で醸成されると確信しています。

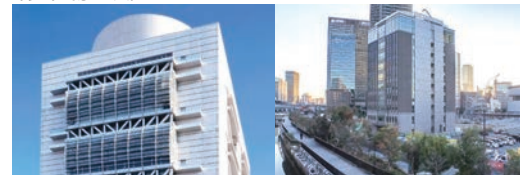
国内最大級の創造ネットワークによるさまざまな取組を通じたコロナ新時代への提言とともに、2025年大阪・関西万博やSDGsの実現に向け、国全体の成長を牽引する都市大阪の発展に寄与することを目指します。

クリエイティブアイランド中之島実行委員会
委員長 西尾章治郎（大阪大学総長）



現在の中之島（協力：中之島まちみらい協議会／写真提供：朝日新聞）

〈参画施設〉



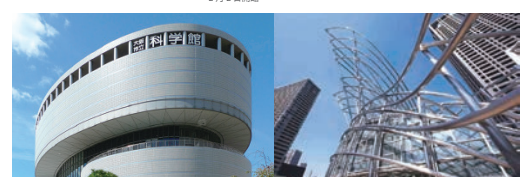
a. 大阪府立国際会議場

b. 大阪大学中之島センター



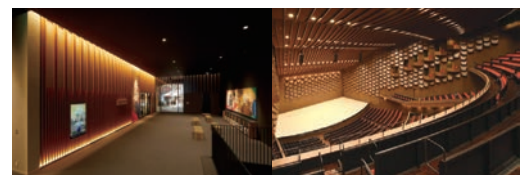
c. 大阪中之島美術館 2022年
2月2日開館

d. graf



e. 大阪市立科学館

f. 国立国際美術館



g. 中之島香雪美術館

h. フェスティバルホール



i. 大阪市中央公会堂

j. アートエリア B1



k. 大阪市立東洋陶磁美術館

l. こども本の森 中之島

事業コンセプト

創造的な実験島 “中之島”

- 3つのキーワード
- ① コラボレーション（企画立案から共同で行う）
 - ② エクスチェンジ（各館の資源を交換する）
 - ③ リレー（テーマや時間、空間などの連続性、回遊性をもたせる）

①中之島施設プロモーション

中之島の人・文化資産
 エクスチェンジによる
 新価値創造

14の文化施設や機関と連携して各機関が有する固有の資源（人・コレクション・歴史・取組み）を活かし、その資源を施設間で交換することで、新たな価値を掘り起こします。



フェスティバルホール音響体験スペシャルツアー

②中之島プロモーション

中之島の都市風景
 アーティストによる
 創造的実験

中之島のユニークベニューを舞台に、国内外で活躍するアーティストがリサーチを経て作品を創作。都市風景とアーティストの創造性の化学反応によって、中之島の魅力を世界に発信します。



宇川直宏× Salyu「NAKANOSHIMA PERFORMING SCAPE」

③プラットフォームメディア

中之島の場・人・出来事
 プラットフォームメディアによる
 芸術体験実験

オンラインとオフラインを組み合わせたプラットフォームメディアを構築し、ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求・実践します。



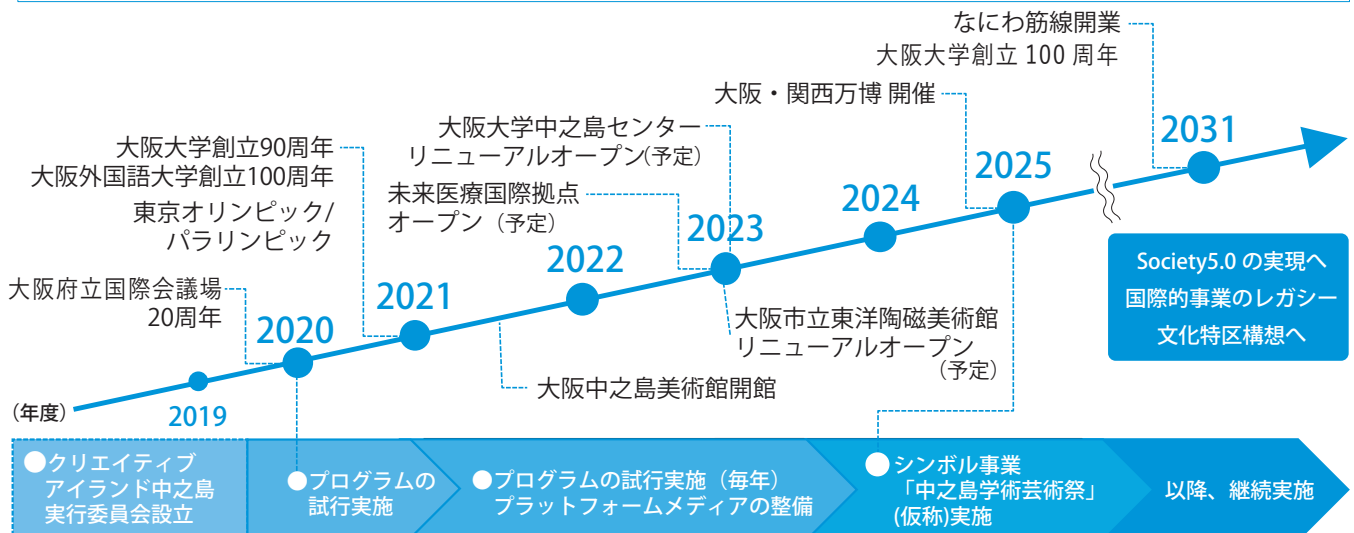
写真家・野口里佳氏によるメインビジュアル

※ 2020年度アーカイブ視聴はこちら→ URL : nakanoshimalab.jp

将来ビジョン

シンボル事業 中之島学術芸術祭（仮称）に向けて

中之島の14の文化拠点を「文化パビリオン」に見立て、共通テーマをもとに各館の資源を活用した企画を定期的実施（展覧会、映像上映、レクチャー、パフォーマンス等）。さらに、中之島公園や水辺、公開空地なども含めることで規制緩和を推進し街一帯を芸術祭の場として変容させ、中之島エリアを我が国有数の創造的拠点とする文化芸術特区化への機運醸成を図るとともに、国内外から人を呼び込む場としていくことを目標とします。



事業概要

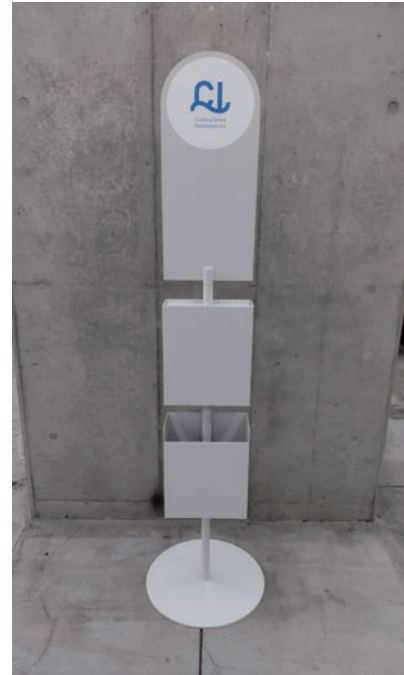
プロジェクトロゴ/ミーティングポイント(サインスタンド)

プロジェクトロゴ

“水”を想起させ
街中でもアイキャッチとなる
鮮やかなブルー



ミーティングポイント(サインスタンド)



ロゴマーク

クリエイティブアイランド中之島の実験的なプロジェクトを、水面に“たゆたう”活動体として可視化。川と川の間にかんだ中之島のイメージをロゴマークにし、本プロジェクトの象徴としてあらゆるシーンで活用します。

ミーティングポイント(サインスタンド)

実来場との連携を想定したミーティングポイント(サインスタンド)を参画機関及び企業ビルのロビーに設置し、来訪者の回遊を誘導することも踏まえて中之島の魅力発信を目指します。

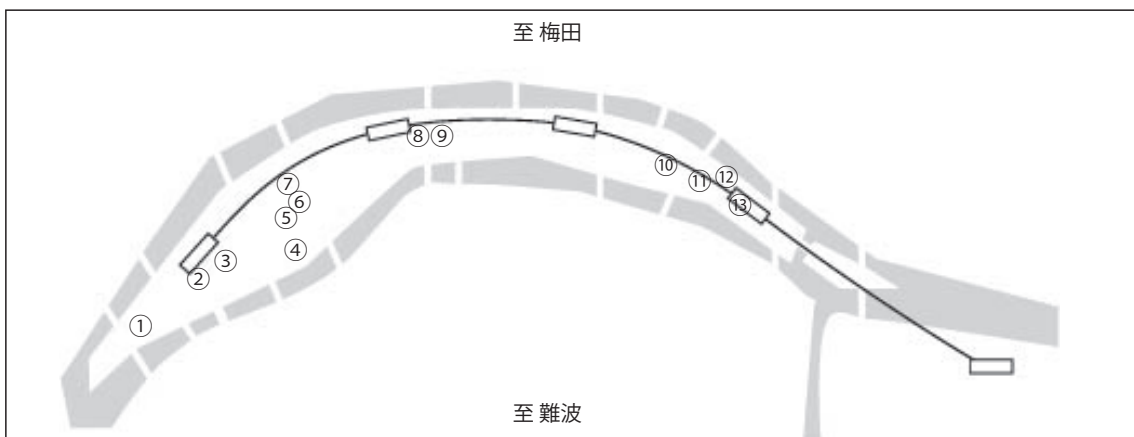
制作デザイン

graf(クリエイティブユニット)

長く中之島にスタジオを構え、クリエイティブアイランド中之島の参画機関のひとつでもあるクリエイティブユニット・grafが、岡田利規によるクリエイティブコンテンツに呼応して、共通ロゴおよび、中之島のユニークベニューに設置するためのミーティングポイント・サインスタンドを設計。



ミーティングポイント設置場所



※下記参画機関施設のロビー及び企業ビルのロビー

- ①中之島センタービル(ホテルNCB) ②大阪府立国際会議場 ③リーガロイヤルホテル(大阪) ④graf ⑤大阪市立科学館
- ⑥国立国際美術館 ⑦大阪中之島美術館(開館後に設置予定) ⑧フェスティバルタワーウエスト ⑨フェスティバルタワー
- ⑩大阪府立中之島図書館 ⑪大阪市中央公会堂 ⑫大阪市立東洋陶磁美術館 ⑬アートエリアB1

事業概要

ミーティングポイント企画

本事業では、ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求すべく、バーチャルとリアルを組み合わせた複合的展開により、中之島を一体的な文化ゾーンとして国内外にPRするプラットフォームメディアの構築を目指しています。リアルメディアとなるミーティングポイント（サインスタンド）は、実来場者の中の島の回遊性を促すためのツールとして活用します。ここでの展示・配架物等はバーチャルメディアとなり公式ウェブサイトと連動し、双方向の情報収集や創造活動への展開を目指します。

ミーティングポイント企画①

開催期間：2021年10月30日～2022年2月28日

大阪中之島美術館開館イベント 「アートなさんぽ 中之島をめぐるスタンプラリー」

大阪中之島美術館の立地する「中之島」の各所に、コレクションの代表的な作品をポスターにして設置。中之島を周遊しながら、気軽に作品と出会い、親しむ機会を提供します。開館後にはどのような作品が見られるのか、コレクションにはどのような特徴があるのかなど、美術館への興味を高め、開館への期待感を醸成することを目的としています。掲出されたポスターをめぐるスタンプラリーを実施し、スマートフォンでポスターを撮影するとスタンプを収集できます。スタンプを5個集めるごとに美術館オリジナルグッズがあたる抽選に参加できます。



デジタルスタンプラリー

本企画のデジタルスタンプラリーはスマートフォンを使って参加できるスタンプラリーです。作品のポスターが掲出されている場所に行き、特設サイトにアクセスして作品ポスターを撮影します。撮影に成功するとスタンプがもらえる仕組みです。

※大阪中之島美術館について

2022年2月2日に中之島4丁目に開館予定の美術館。佐伯祐三やモディリアーニなど、大阪ゆかりの作家や世界の近現代美術とデザインを中心とした6,000点超のコレクションを所蔵する。開放感のあるパッサージュ空間などを取り入れ、関西最大規模の美術館となる予定。

事業概要

ミーティングポイント企画② 開催期間：2022年2月1日（火）～長期プロジェクト展開予定

中之島プロモーション アーティストディレクションによるクリエイティブコンテンツ

「中之島プロモーション」は、中之島のユニークベニューを舞台に、国内外のトップレベルのアーティストのディレクションによってコンテンツを繰り広げます。今年度のゲストアーティストには、独特の言語・身体表現を通じて現代社会を捉えた作品を世界各地で発表し続ける、演劇ユニット・チェルフィッチュ主宰の岡田利規氏を迎え、ミーティングポイントを活用した実験的なプロジェクトを展開します。

2018年度中之島フィールドリサーチで、中之島の最西端の空白地帯「西の鼻」をモチーフにした劇作を構想した岡田氏は、今年度、ミーティングポイントの活用に関するトークを皮切りに、不特定多数の人々と交わす言葉・文字によるコミュニケーションを使ったクリエイションの可能性を探ります。

本プロジェクトでは、ミーティングポイントを情報発信ツールとしてだけでなく、情報と人々の言葉が交差する地点として設定。ミーティングポイントに設置された言葉と街を巡ることで中之島の新たな体験を創出することを試みます。



大阪府立中之島図書館の展示資料



大阪市中央公会堂の客席展示



大阪市立科学館の日時計

中之島リサーチの様子

アーティストプロフィール

岡田利規（おかだ・としき）

1973年横浜生まれ、熊本在住。演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。主な受賞歴は『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞、小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』で第2回大江健三郎賞、『プラターナー：憑依のポートレート』で第27回読売演劇大賞 選考委員特別賞、『未練の幽霊と怪物 挫波／敦賀』で第72回読売文学賞 戯曲・シナリオ賞を受賞。主な著書は『遊行 変形していくための演劇論』、『現在地』（共に河出書房新社）など。2016年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピレのレパートリー作品の演出を4シーズン務め、2020年に最新作『The Vacuum Cleaner』がドイツの演劇祭 Theatertreffen の“注目すべき10作品”に選出された。



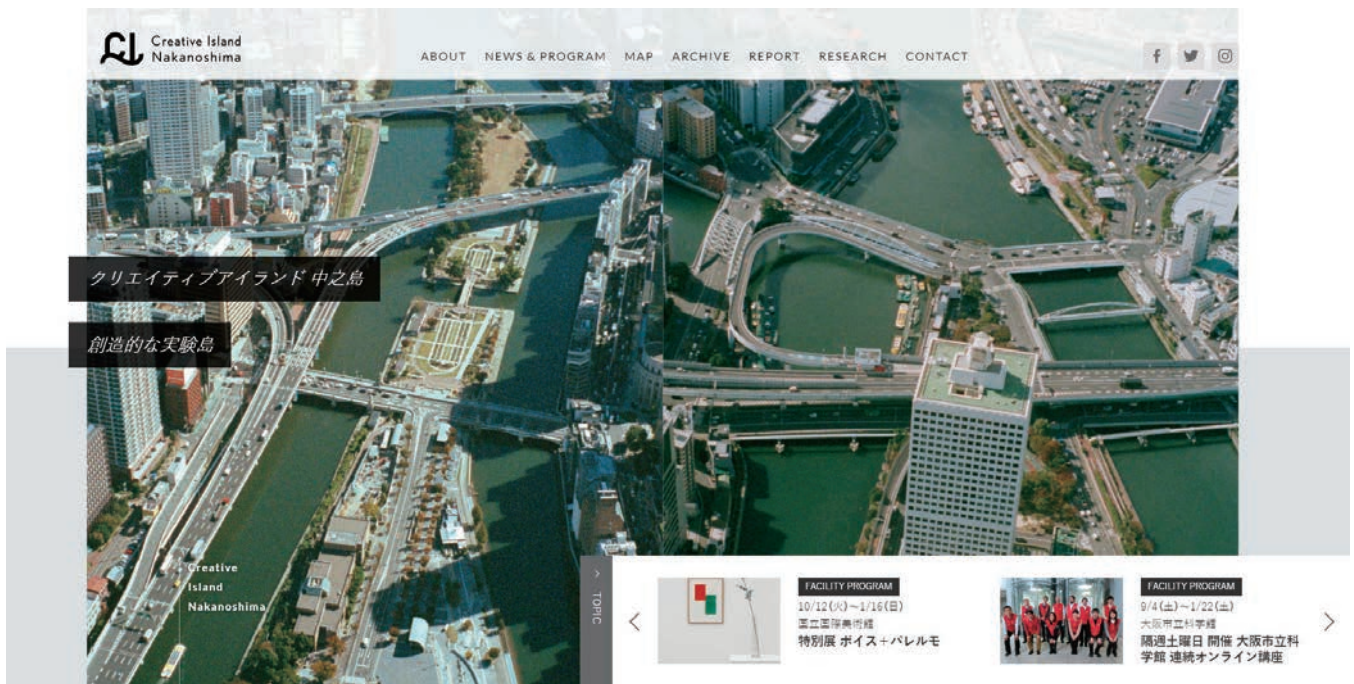
©Kikuko Usuyama

事業概要

プラットフォームメディアとしてのプロモーションサイトリニューアル

ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求すべく、バーチャルとリアルを組み合わせたプラットフォームメディアを構築し、プロモーションサイトをリニューアルしました。

写真家の野口里佳氏が撮り下ろした写真作品を扉に、プログラムのオンライン配信、開催後のレポートなどの掲載に加えて、ポータルサイト機能を新しく追加し、中之島に点在する文化施設各館の情報を発信します。中之島の当日の催しなどタイムリーな情報にアクセスできるようになりました。コロナ禍により来場することが困難な状況でも中之島の魅力に触れ、プログラムを体験できる機会を創出します。



URL : nakanoshimalab.jp

本サイトイメージ (一部)

クリエイティブアイランド中之島 今後の予定

◆シンボルシンポジウム（2022年2月11日（金・祝）を予定）

2022年2月2日に開館する大阪中之島美術館を会場にシンボルシンポジウムを開催

◆コア期間プログラム（2022年2月2日（水）～2月13日（日））

2022年2月の2週間をコア期間として、ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求すべく、実来場とオンラインによるユニークベニューを舞台としたエクステンジプログラムを連続開催

2022年1月頃詳細発表予定

■運営組織

クリエイティブアイランド中之島実行委員会

構成団体 | 大阪府立国際会議場、大阪市中央公会堂、大阪市立科学館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪大学・ダンスボックス・京阪ホールディングス（アートエリア B1）、大阪中之島美術館、graf、国立国際美術館、こども本の森 中之島、中之島香雪美術館、中之島まちみらい協議会、フェスティバルホール

実行委員長 | 西尾章治郎（大阪大学総長）

経緯 | 2018年7月～ アートエリア B1（大阪大学・京阪ホールディングス・ダンスボックス）が、文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「クリエイティブ・アイランド・ラボ 中之島」として、中之島を拠点とする文化施設と連携したツアーやトークなどを実施。

2019年5～7月 文化施設等の代表者らによりクリエイティブアイランド中之島実行委員会の設立に向け協議。
2019年8月 クリエイティブアイランド中之島実行委員会設立。
2019年9月～ 2020年度の事業具体化に向けて、プロジェクトチーム会議を実施。
2020年4月～ 令和2年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業に採択。
2020年10月～ 大阪市中央公会堂、こども本の森 中之島が新規参画。

2021年2月 スタートアップ事業（web サイト設置・コア期間プログラムの実施）始動。

広報に関するお問合せ

クリエイティブアイランド中之島 事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-1 京阪電車なにわ橋駅地下1階 アートエリア B1 内
Tel 06-6226-4006（12:00-19:00 / 月曜休） E-mail press@artarea-b1.jp

〈画像クレジット〉 p1：a. 大阪府立国際会議場、b. 大阪大学中之島センター、c. 大阪中之島美術館、
d.graf、e. 大阪市立科学館（提供：大阪市立科学館）、f. 国立国際美術館、g. 中之島香雪美術館、
h. フェスティバルホール（提供：フェスティバルホール）、i. 大阪市中央公会堂（提供：大阪市中央公会堂）、
j. アートエリア B1、k. 大阪市立東洋陶磁美術館、l. こども本の森 中之島